

平成27年度 自己評価・学校関係者評価表

学校番号	88	学校名	静岡県立浜松工業高等学校(全日制)	記載者	大瀬 裕市
------	----	-----	-------------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	次の100年に向けた学校の体制づくりに着手する。	学科を越えた教育資源の活用を図る。 全ての学科で授業連携を実施する。	A	A	専門科が多いため、科ごとのつながりが少ないと感じていた。良い取組みだと評価できる。
		工業科と普通科を越えた教育資源の活用を図る。 課題研究等での連携と理工情報の教育内容検討の実施。	A	A	各科のつながりができ、浜松工業高校ならではの総合的な活動できたらすばらしい。
		理数工学科の充実・発展を学校として取り組む。 具体的目標及び教育実践計画の策定する	A	A	科技高が成果を出しているという。浜工生の力が出し切れているのか。
	天下の浜工生としての立居振舞、プライドを育成する。	挨拶の励行、基本的な生活習慣の定着を図る。挨拶定着度100%	B	A	しっかり笑顔で挨拶ができています。
		S S H講演会をとおして、生徒の向上心を育てる。 実りある講演会の実施。	A	A	S S Hを通して生徒のレベルが上がっているように思われる。浜松は講師の人材が豊富である。その道のプロを招いてはどうか。
イ	基礎基本の定着を図るとともに、知的好奇心の育成を図る。	不振者への授業の出欠管理を行うとともに、課題提出指導を徹底する。 学年末での欠点保有科目 第1・2学年10科目未満 第3学年0科目	A	A	課題提出は最低限徹底させてほしい。部活動で忙しい生徒でも、社会人のマナー教育として提出物の徹底を指導してほしい。
		学校図書室の有効活用を図る。 年間平均貸出冊数 2.0冊/人以上。	C	C	読書・語学力を身に付けることはすべての能力向上に重要なこと。習慣づけをお願いしたい。
ウ	生徒会を中心に生徒主体の活動を拡大する。	100周年記念事業において生徒会に参画させる。 生徒会が企画した事業の実施をする。	A	A	百周年記念事業における生徒の活躍はすばらしいものであった。高く評価できる。
エ	学校ホームページを有効活用し、効果的な広報活動を実施する。	ホームページへの記事を毎日掲載する。 1日の平均訪問回数500回以上。	A	A	時々は見ている。新しい情報が多く、浜松工を知るために大変参考になっている。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
オ	進路課と連携した各学年の緻密な生き方指導の計画を策定する。	進路シラバスに基づき、個々の生徒の進路希望状況に応じた進路指導を行う。 就職内定率 100% 国公立大学合格者 25人以上。	B	B	進路希望を把握する以前に幅広い職業選択ができるように工夫してほしい。
カ	基本的生活習慣を保証するための安全かつ安心な学校づくりを推進する。	毎月の自転車街頭指導の場所を拡大し、危険個所での指導を徹底する。 重大な交通事故ゼロ。 軽微な交通事故 15 件以下。	A	A	本人の自覚の問題もあると思うが、学校による継続した交通安全指導に期待する。
		不測の事態に対応できるよう防災体制を整える。 防災訓練を年間 3 回実施	C	C	最悪の事態を想定した訓練を検討してほしい。
		生徒に対する健康と環境衛生への高い意識を涵養するための情報発信を行う。 保健室だよりの発行。 年間 12 回以上。	B	B	「医食同源」といいます。学生の間から食生活に関心を持ってほしい。 家庭にメール配信等を検討してほしい。
		心の健康問題にかかる重大なケースについてはスクールカウンセラーを活用する。 スクールカウンセラー配置年間 80 時間以上。	A	A	配置時間だけではなく、カウンセリングの内容、件数についても考慮する必要があると感じる。
キ	本校の教育活動が円滑に展開できるよう環境整備を図る。	情報ネットワーク環境を維持管理する。 営業日のネットワーク稼働率 100%。	A	A	ネットワークに詳しい先生方がたくさんいる。大変充実した管理ができています。
		生徒が利用しやすい食堂・購買の整備を行う。 「利用しやすい」と回答する生徒 80%以上。	B	B	食堂がある学校は恵まれている。
		優先順位に基づいた学校の施設の整備を図る。 学校の施設（備品・機械）について「満足できる」と回答する生徒 90%以上。	C	C	日本のモノづくりが低下している。浜松工業も、日本の産業人の育成のために新技術に対応した設備の導入を期待する。
ク	生徒の意欲を引き出す指導方法を確立する。	授業公開、生徒による授業アンケートをとおして授業改善を行う。 授業公開での相互授業参観 2 回以上。 生徒授業アンケート 2 回以上。	A	B	卒業生を多く活用してほしい。 教員の指導技術の向上に常に努めてほしい。